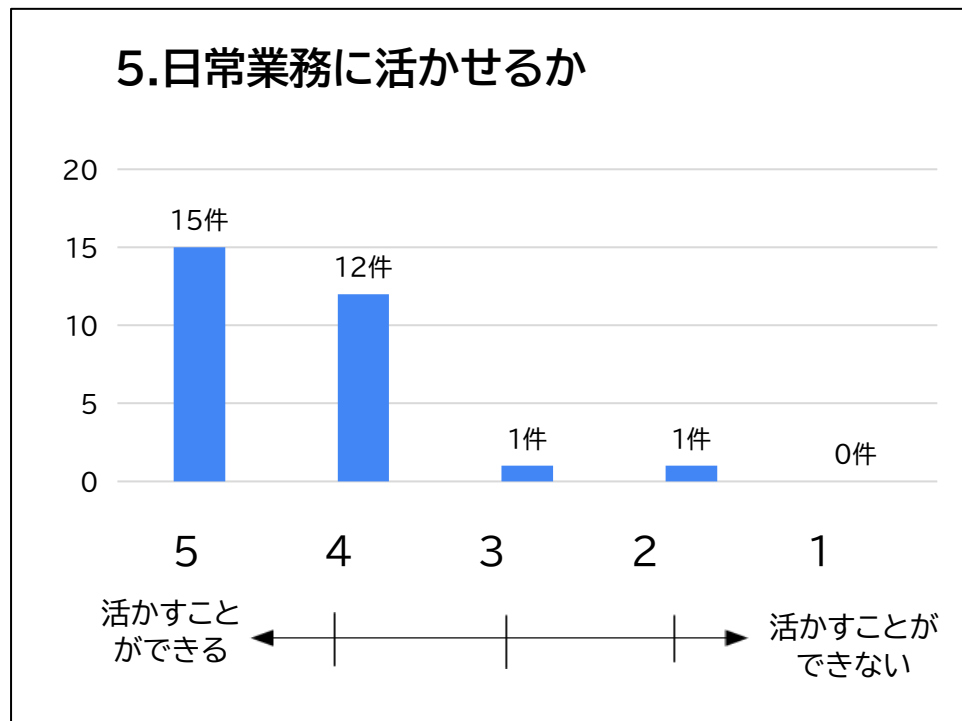
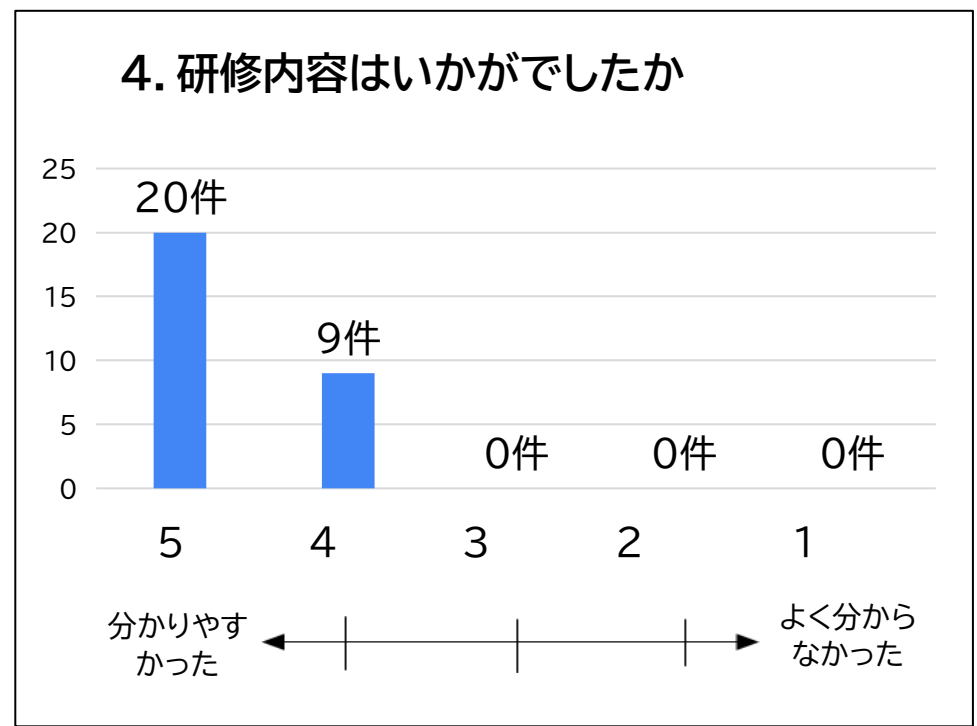
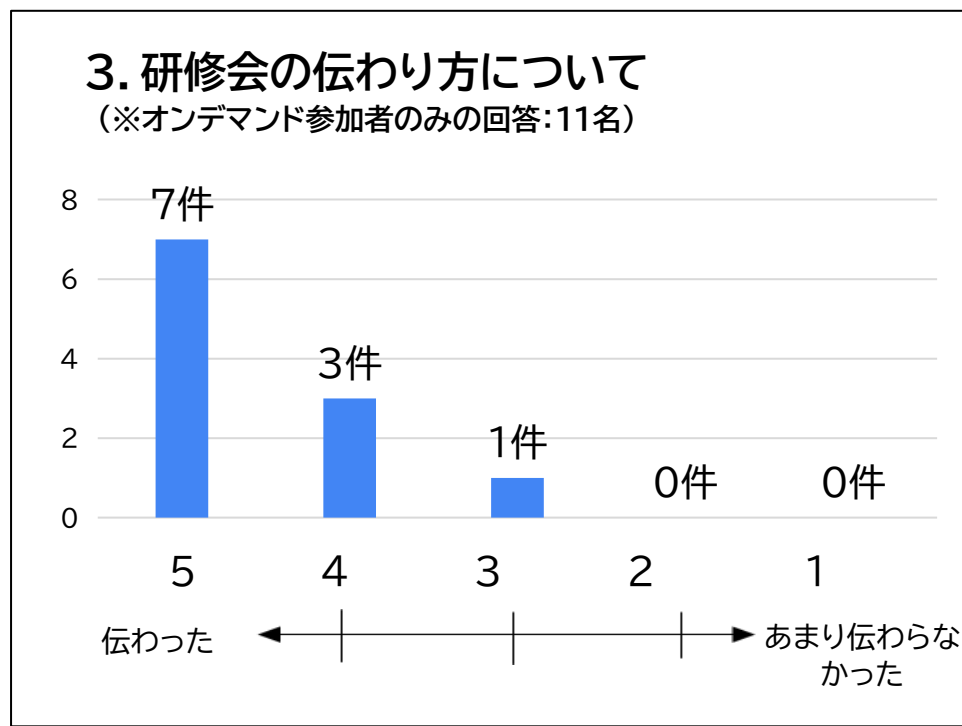
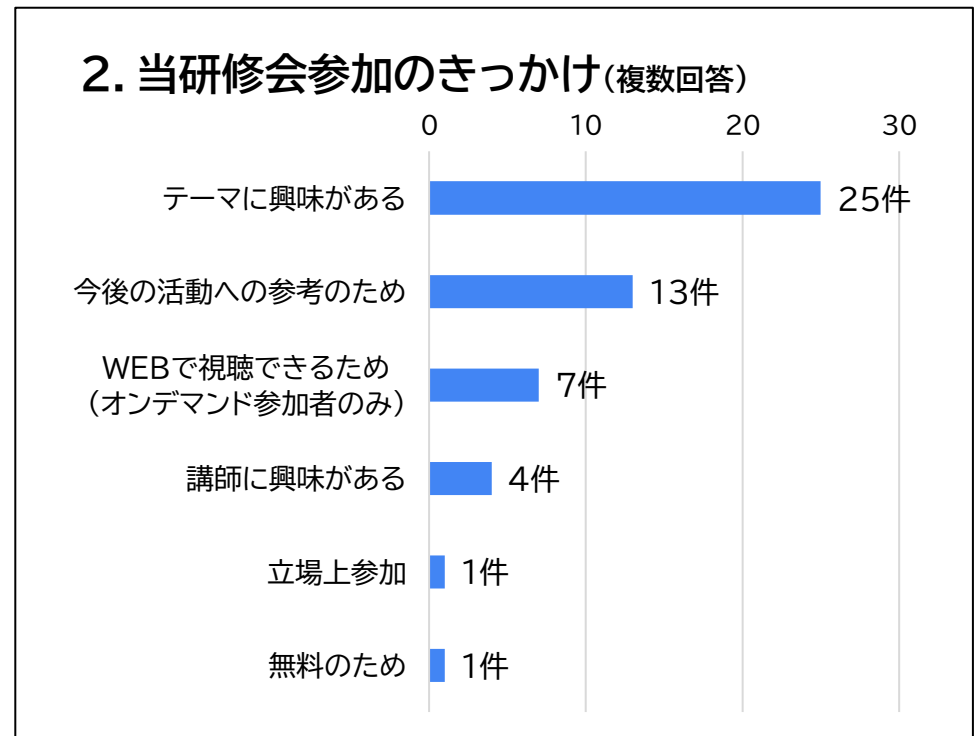
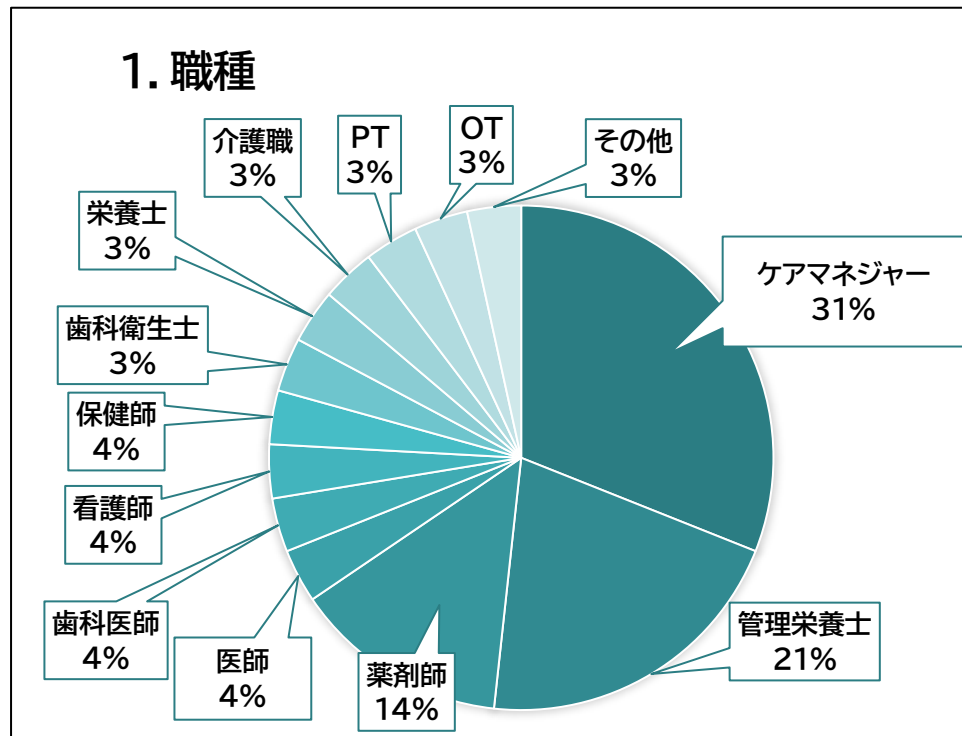


第29回 多職種連携医療・福祉セミナー(令和6年11月28日開催)
 「在宅で過ごすための食支援～管理栄養士の在宅訪問の実際～」
 当日参加:18名
 オンデマンド配信(12月9日～12月16日):108回視聴、66回線
 アンケート回答者:計29名(内訳:当日18名、オンデマンド11名)



5.4の項目 回答理由を教えてください

活かせる

5	3例目がよくわかりやすく良かった。多職種連携が非常にできていると思った。管理栄養士が何をしているかわかったので、ケアプランにつなげやすいと思った
	フレイルの方や誤嚥性肺炎の対象者が多いので同行訪問の後に居宅管理栄養指導を入れる
	トロミ剤や量で介護職員とお話をしながら施設でより良く使用できればなと思っています。また、栄養士としてまだまだ分からない所があるので、また、食に関する講習の参加していきたいです
	栄養士さんに相談したいことがあった時にどこに相談すればよいか分かった
	栄養士さんに関わって頂きたいと思ってもどうおつなぎしたらいいか分からずにいましたが、今は、講義を受けさせて頂いて、栄養ケアステーションという所があると知りました
	栄養士さんの関わりが必要と感じるケースが増えてきており、悩んでいました。比較的簡単に相談できる場がある事を知ることができたので、今後に活かしていきたいと思います
	在宅で実践しやすい食事指導内容で、自分も機会があったら利用者本人や主介護者に伝えたいと思った(粥にオリーブオイルを添加する、色の悪くなるみそ汁等は常食をまず見せてからミキサーにかける…等)
	栄養面での改善も考えていきたい。
	必要があれば相談できる場所を知ることができたため。
	患者さんとコミュニケーションをとるきっかけに生かせそう
4	管理栄養士の働き方が具体的に理解できました
	実際の事例を交えたお話がとても興味深かったです
	薬剤師でありながらエンシュアやイノラスのとりみ付けについて無知でした。エンシュアなどの栄養剤が処方されている時点で嚥下についても意識を向けたいと思いました
	多職種の連携の仕方、栄養指導時の考え方・伝え方が参考になったため
	栄養だけでなく、連携の取り方等も聞け良かった。食べられない方でも食べられるようになる
	補助食品の提案が参考になりました。また、患者様やご家族への聞き取りの重要性を感じました。歯や義歯を治療しても食事がすすまない方やどんな物から食べ始めていただくのが良いか悩むケースがあるので相談できると良いなと思いました
	食事や栄養摂取について課題を抱える利用者さんが多いので、相談窓口の一つとして活用できると思います。
	必要な方がいれば相談したい。
訪問での栄養士の役割と他職種との連携について知ることができたため	
3	とりあえずは、情報として得ることができました。機会があれば活かしていきます
2	体制が整っていない

活かせない

